

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 9月20日更新

事務事業名	セーフティパトロール事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	青木 洋治
	施策	2	防犯対策の推進			所属課	学校教育課	担当者名	花田 秀樹
	基本事業	6	地域防犯対策の充実			所属班	総務施設班	(内線)	2213
予算科目	会計一般	款 10	項 1	目 2	事業連番 10027	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑨		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	警備会社と委託契約を締結し、小・中学校の下校時間帯に自転車又は徒歩により通学路の巡回警備を行い、児童・生徒の安全確保と不審者等による犯罪抑止を目的とする事業。平成16年度に旧西合志町において開始された。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①毎年4月に指名競争入札により業者を決定し、委託契約を締結→②委託業者と各小中学校間で巡回区域、業務内容についての打合せ→③巡回パトロールの実施→④報告書(日報)の提出→⑤委託料の支払い
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】	合志南小学校PTA新聞担当者からは、旧合志町区域のパトロール拡充を望む意見があった。市長マニフェストの具現に向けて、平成23年度から地域の自主防犯パトロールでは対応が不十分な合志小、西合志第一小、西合志中央小の3校区のみをパトロール区域に設定した。PTAより、現状では地域で組織する自主防犯パトロールでは対応できない部分もあるので、存続を希望する要望があった。市民意識調査においては地域ボランティアによる見守り体制の確立を望む声があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
㈱ホームセキュリティへの業務委託により、市内を東地区(合志小学校区)と西地区(西合志第一小、西合志中央小学校区)の2ブロックに分け、3人のパトロール隊員による巡回警備を行なった。	前年度と同様に実施する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア/パトロール日数	日 平成23年度委託契約額を基にした試算及び小・中学校の授業日数に伴うパトロール日数の減
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内小中学校(合志小、西合志第一小、西合志中央小)の3校区を下校する児童・生徒	(単位) 人
	→ア/児童生徒数
	イ/小中学校数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
安心して下校できる	(単位) 件
	→ア/下校時の事故発生件数
	イ/不審者の目撃情報
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
巡回パトロールを行うことにより、事故や不審者出没の抑制につながっているかどうかをそれぞれ発生件数や目撃情報の件数で把握する。	
総トータルコスト全体計画 ~ 年度	
0	

(2)各指標・総事業費の推移	単位	21年度	22年度	23年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
①活動指標	ア 日	995	1,015	600	603	600	600	600	600	
	イ 日									
②対象指標	ア 人	5,262	5,541	1,744	1,771	1,785	1,767	1,754	1,752	
	イ 校	10	10	5	5	5	5	5	5	
③成果指標	ア 件	5	3	0	0	0	0	0	0	
	イ 件	9	12	0	4	0	0	0	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		3,206	2,584	1,501	898	898	898
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	6,227	3,251	854	621	1,347	1,347	1,347
		(A)のうち指定経費	千円	6,227	6,457	3,438	2,122	2,245	2,245	2,245
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	3	1	3	1	1	0
		延べ業務時間	時間	50	70	50	106	50	50	0
(B)人件費計	千円	199	288	206	428	206	206	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,426	6,745	3,644	2,550	2,451	2,451	2,245	2,245	

事務事業名	セーフティパトロール事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 安心して安全に下校できる環境を実現するため、目標値をあえて0件に設定したが、偶発的な事故や不審者の出没を防止することは困難であり、目標を達成することはできなかった。しかし、今後も目標値を0件と設定し、達成のための努力を重ねていきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 目標値の設定は究極目標であるが、セーフティパトロール隊の巡回による抑止効果により、発生件数0件となるよう取り組みたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒【理由】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 現状のパトロール体制では難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 自主防犯パトロール組織は「見守り」的な性質が強いが、セーフティパトロール隊は不審者への声かけ等を積極的に行っており、犯罪の抑止が主目的であるため他の類似手段はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 委託費用の金額をかなり安価に抑えている。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最少の人員体制で対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 自主防犯パトロールで対応できない地域のみを対象としているため、市内全校区が対象となっていない。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市民や児童・生徒から感謝され、安心感を与えているが、それは長年継続して実施してきた結果であり、行政が担うべき事業であると考えているが、今後は自主防犯パトロールと協働し、手薄にならざるを得ない地域のパトロールに特化して行う。	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

セーフティパトロール隊は、児童・生徒の見守りだけではなく、不審者の発見、未成年者への喫煙等の注意、困っている児童・生徒の援護など、様々な事例を行っており、地域住民に安心感を与えている。
セーフティパトロールの巡回は下校時のみに限定しているが、登校時の不審者事象も起こっており、巡回時間について再検討の必要もあると思う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						